

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年12月11日

学校法人 矢口学園
認定こども園 高ヶ坂幼稚園

1. 本園の教育目標

- こ 根気強く最後までやる子
- う 運動の好きな元気な子
- が 我慢強く思いやりのある子
- さ 作業を進んでできる子
- か 考えて行動する子

※ 上記の頭文字を取って「こうがさか」のよい子

2. 本年度重点的に取り組む目標や計画

- 園舎の改装を含めた 総合的な環境整備
- 地域の子育て支援活動の充実(未就園児預かり推進事業)
- 特別支援教育の充実

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	○ 園舎の改装を含めた 総合的な環境整備	A	・バス手すり ・テラス張り替え（滑りにくい素材への変更） ・プールやシャワーヘッドのリニューアル ・園の壁タイル張り替え
2	○ 地域の子育て支援の充実 (未就園児預かり推進事業) (こども食堂)	A	・子どもの社会性の育ちを促したり、保護者の孤立化を防いだりすることをねらいとし、どこにも所属していない未就園児を週2日、2か月間継続的に預かっている ・子育て世帯への食料品などの配布に加え、園庭やホールを開放し保育者と交流に繋がるイベントを開催
3	○ 通園促進事業の取り組み	B	・トイレの改装（人工肛門） ・特別訓練（ドラベ症候群） ・16時までの預かり無償化 ・面談による子育てサポートや療育機関との連携

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	未就園児預かり推進事業やこども食堂（フードパントリー）など、新規事業への取り組みにより、地域の子育て世帯に本園を知ってもらうことができた。 また、保育者との交流の場を設けたことで育児不安や家庭の悩み等、当事者から直接話を聞くことができた。 しかし、個別に支援が必要な子どもに対しての別案や環境設定などを、家庭と連携をした上でもう少し充実させたかった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	ICT 化	・アプリによる登降園記録、出欠連絡による業務の自動化による労働時間の削減 ・電子黒板などの活用 ・キャッシュレス化による保護者の負担軽減
2	職員研修の充実	・研修受講の時間確保 ・園内研修の充実化 ・受講数の差の開きを解消

6. 学校関係者評価委員会の評価

○ 園舎の改装を含めた 総合的な環境整備

学校では気温が高すぎるとプールにほとんど入れないが、プールの水温・水位を調節管理できる室内プールではそのようなことが起こらないため安心できた。手すり設置やトイレ増設などは、安全性の向上や施設機能の強化につながっている。今後は、性被害防止のための対策が必要だと思う。

○ 地域の子育て支援活動の充実

未就園児預かり推進事業やフードパントリーは、非常に助かっているのが長期的な取り組みを目指してほしい。利用する際に「自分より困っている人がいるのではないか」と気が引ける事があるので、はっきりとした条件を打ち出し、より利用しやすい工夫をしていただきたい。

○ 特別支援教育の充実

アレルギー児の食事管理等、保護者としての要望を取り入れて対応し学園全体に、アップデートされていることに安心した。どこまで要望していいものか悩むが、それがしっかり反映されることを知る機会があるといいと思う。